級別に取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

漢検 2 級

第39巻　問題のみ

読み、書き、くり返し。

35字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

匠 匿 卑 卓 卸 厘

問題にじっくり取り組む

本文 29ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

diglabo

漢検の級別配当を参考にした独自教材です。公式問題集ではありません。

2きゅう 39かん たんい1 A

なまえ

/ 16

1. 落語の師（し）□（しょう）に弟子入りする
2. 弱者をだますのは□（ひ）劣（れつ）だ
3. □（おろし）値（ね）で安く仕入れる
4. 小学校に入って□（いち）年（ねん）がたつ
5. お正月のある□（いち）月（がつ）は寒（さむ）い
6. ルネサンスの巨（きょ）□（しょう）が描いた絵
7. 大国に□（ひ）屈（くつ）な外交を続ける
8. 父は野菜を□（おろし）売（う）りする
9. 匿名でアンケートに答える □
10. 焼きたてのパンが食卓に並ぶ □
11. 両者の差は厘毛にすぎない □
12. 地図で国の場所（しょ）をさがす □
13. インターネットの匿名性を悪用した書き込み □
14. 卓球の試合でスマッシュを決める □
15. この勝負は九分九厘こちらの勝ちだ □
16. モグラは地下にトンネルをほる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい1 B

なまえ

/ 16

1. □（とく）名（めい）でアンケートに答える
2. 焼きたてのパンが食（しょく）□（たく）に並ぶ
3. 両者の差は□（りん）毛（もう）にすぎない
4. □（ち）図（ず）で駅（えき）までの道を調（しら）べる
5. 各国の代表が円（えん）□（たく）を囲む
6. 九（く）分（ぶ）九（く）□（りん）終わった
7. 雨で□（じ）面（めん）がぬれている
8. 落語の 師匠 に弟子入りする
9. 弱者をだますのは 卑劣 だ
10. 農家が野菜を市場に 卸す
11. おやつのクッキーを 一つ ずつくばる
12. 他人の不幸を喜ぶ 卑しい 心を恥じる
13. 職業で人を 卑しむ べきではない
14. 卸値 で安く仕入れる
15. 入学したばかりの 一年生 が校庭（てい）にならぶ
16. 茶道の 宗匠 に作法を習う

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい1 B-2

なまえ

/ 15

1. 差し押さえ前に財産を 隠(いん) □(とく) する
2. 記者が取材源を 秘(ひ) □(とく) する
3. 職人の □(たく) 越(えつ) した技に見入る
4. 家計簿をつけるのに 電(でん) □(たく) を使う
5. 一(いち)分(ぶ)一(いち) □(りん) たがわず
6. □(ち) 下(か) から水がわき出る
7. 広い 土(と) □(ち) に家を建(た)てる
8. 不正な手段は自らを 卑しめる 行いだ □
9. カレンダーをめくると六月 一日 だった □
10. 雨がふって 一日中 外(そと)で遊(あそ)べない □
11. 寺の仏像は 名匠 の作と伝わる □
12. 新しい製品のデザインを 意匠権 で守る □
13. 昔は 男尊女卑 の考えが強かった □
14. この店は 卸値 に近い価格で売る □
15. 祖父は乾物の 卸問屋 を営む □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい2 A

なまえ

/ 16

1. 仕事を□(また)請(う)け に出す
2. □(きち)日(じつ) を選んで式を挙げる
3. 人生の悲(ひ)□(あい) を描いた小説
4. 校長の代(か)わりに教(きょう)□(とう) が来る
5. 友人の話を□(また)聞(ぎ)き する
6. 初孫誕生の□(きっ)報(ぽう) が届く
7. 喜(き)怒(ど)□(あい)楽(らく) を表す
8. リレーで兄が先(せん)□(とう) を走る
9. 裁判官が 双方 の言い分を聞く
10. 明治の 官吏 が欧米を視察した
11. 大学で西洋の 哲学 を学ぶ
12. おじいさんが使う言葉の中には 死語 もある
13. 朝顔の 双葉 が土から出てきた
14. 火災の現場で 消防吏員 が指揮を執る
15. 哲人 と呼ばれた古代の王
16. 山で道にまよったが 九死 に一生をえた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい2 B

なまえ

/ 17

1. 裁判官が□そう方ほうの言い分を聞く
2. 明治の官かん□りが欧米を視察した
3. 大学で西洋の□てつ学がくを学ぶ
4. 昔はやった言葉が□しになる語ごになる
5. □そう眼がん鏡きょうでクジラを探す
6. 大岡忠相は能のう□りとして知られる
7. 何の変へん□てつもない石
8. 一点のリードを□し守しゅする
9. 住所又は電話番号を記入する
10. 吉日を選んで式を挙げる
11. 寒さに震える小鳥が哀れだ
12. シャンプーをあわ立てて頭をあらう
13. 昔の人は日食を不吉の印と考えた
14. 人生の悲哀を描いた小説
15. 負けた相手を哀れむのは失礼だ
16. 今回は又とない好機だ
17. ラーメン屋の行列の先頭にならぶ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい3 A

なまえ

/ 17

1. 拝（はい）□（けい）に対する結びは敬具だ
2. 海辺で夏休みを満（まん）□（きつ）する
3. □（こう）口（こう）から作業員が出てくる
4. 山の天（てん）□（こう）が急に変わる
5. 黒い雲は雨の兆（ちょう）□（こう）だ
6. 新しい案が天（てん）□（けい）のように浮かぶ
7. 荷を積むと船の□（きつ）水（すい）が深くなる
8. 炭（たん）□（こう）節（ぶし）を盆踊りで踊る
9. 交通安全への注意を喚起する □
10. 画家に壁画の制作を委嘱する □
11. この山には金が埋蔵されている □
12. 暗い部屋の電灯をつける □
13. 校庭にタイムカプセルを埋める □
14. 開幕戦のスタンドが観客で埋まる □
15. 裁判所から召喚状が届く □
16. 工場の嘱託医が社員の健康相談に乗る □
17. 電灯を消してふとんに入る □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい3 A-2

なまえ

/ 15

1. 南の島は暖(あたた)かい気(き)□(こう)だ
2. 手紙に時(じ)□(こう)のあいさつを書く
3. 人権について市民を□(けい)発(はっ)する
4. 預言者が神の□(けい)示(じ)を受ける
5. 駅前の□(きっ)茶(さ)店(てん)に入る
6. □(きつ)煙(えん)は二十歳になってから
7. 炭鉱の□(こう)内(ない)からガスを抜く
8. 優れた作品が世に知られず埋もれる □
9. 注意喚起の放送が流れる □
10. 国会で証人喚問が行われる □
11. 旅先で嘱目の景色を俳句にする □
12. 市から審議会の委嘱状が届く □
13. 試験の穴埋め問題で点を取る □
14. みさきの先に白い灯台が立つ □
15. 街灯の明かりで道が見える □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい3 B

なまえ

/ 16

1. 交通安全への注意を□(かん)起(き)する
2. 画家に壁画の制作を委(い)□(しょく)する
3. この山には金が□(まい)蔵(ぞう)されている
4. 暗い部屋の電(でん)□(とう)をつける
5. 攻め込む兵の□(かん)声(せい)が響く
6. 定年後は□(しょく)託(たく)として働く
7. 道路の下に水道管を□(まい)設(せつ)する
8. □(とう)台(だい)の光が船を守る
9. 拝啓に対する結びは敬具だ
10. 海辺で夏休みを満喫する
11. 坑口から作業員が出てくる
12. 山の天候が急に変わる
13. 運動会の日は天候にめぐまれた
14. 自己啓発の本を読む
15. 少子化は喫緊の課題だ
16. エネルギー革命で炭坑の閉山が相次いだ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん ふりかえり3 A

なまえ

/ 24

1. 落語の師(し)□(しょう)に弟子入りする
2. 弱者をだますのは□(ひ)劣(れつ)だ
3. □(おろし)値(ね)で安く仕入れる
4. 仕事を□(また)請(う)け□に出す
5. □(きち)日(じつ)を選んで式を挙げる
6. 人生の悲(ひ)□(あい)を描いた小説
7. 拝(はい)□(けい)に対する結びは敬具だ
8. 海辺で夏休みを満(まん)□(きつ)する
9. □(こう)口(こう)から作業員が出てくる
10. 小学校に入って□(いち)年(ねん)がたつ
11. 校長の代(か)わりに教(きょう)□(とう)が来る
12. 山の天(てん)□(こう)が急に変わる
13. 匿名でアンケートに答える□
14. 焼きたてのパンが食卓に並ぶ□
15. 両者の差は厘毛にすぎない□
16. 裁判官が双方の言い分を聞く□
17. 明治の官吏が欧米を視察した□
18. 大学で西洋の哲学を学ぶ□
19. 交通安全への注意を喚起する□
20. 画家に壁画の制作を委嘱する□
21. この山には金が埋蔵されている□
22. 地図で国の場所(しょ)をさがす□
23. おじいさんが使う言葉の中には死語もある□
24. 暗い部屋の電灯をつける□

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん ふりかえり3 B

なまえ

/ 24

1. [とく]名[めい]でアンケートに答える
2. 焼きたてのパンが食[しょく][たく]に並ぶ
3. 両者の差は[りん]毛[もう]にすぎない
4. 裁判官が[そう]方[ほう]の言い分を聞く
5. 明治の官[かん][り]が欧米を視察した
6. 大学で西洋の[てつ]学[がく]を学ぶ
7. 交通安全への注意を[かん]起[き]する
8. 画家に壁画の制作を委[い][しょく]する
9. この山には金が[まい]蔵[ぞう]されている
10. [ち]図[ず]で駅[えき]までの道を調[しら]べる
11. 昔はやった言葉が[し]語[ご]になる
12. 暗い部屋の電[でん][とう]をつける
13. 落語の師匠に弟子入りする
14. 弱者をだますのは卑劣だ
15. 農家が野菜を市場に卸す
16. 住所又は電話番号を記入する
17. 吉日を選んで式を挙げる
18. 寒さに震える小鳥が哀れだ
19. 拝啓に対する結びは敬具だ
20. 海辺で夏休みを満喫する
21. 坑口から作業員が出てくる
22. おやつのクッキーを一つずつくばる
23. シャンプーをあわ立てて頭をあらう
24. 山の天候が急に変わる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい4 A

なまえ

/ 16

1. 海底から金（きん）□（かい）が見つかる
2. 戦時中に敵機を撃（げき）□（つい）した記録
3. 巨大な古（こ）□（ふん）を空から見る
4. 町の人口が少しずつ□（ぞう）加（か）する
5. 祖父は団（だん）□（かい）の世代だ
6. 夏はプールの客が急（きゅう）□（ぞう）する
7. 幕府の権威が失（しっ）□（つい）する
8. エジプトの王の□（ふん）墓（ぼ）を調査する
9. 焼いたパンにバターを塗る □
10. 明治の教室では白墨を使った □
11. 江戸（え）時代に荒れ地を開墾した □
12. 謝った弟を姉が許す □
13. 車の塗装がはげてきた □
14. 墨染めの衣の僧が歩く □
15. 開墾地に麦の種をまく □
16. 市の許可を得て広場で祭りを開く □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい4 B

なまえ

/ 16

1. 車の□と装(そう)がはげてきた
2. 明治の教室では白(はく)□(ぼく)を使った
3. 江戸(え)時代に荒れ地を開(かい)□(こん)した
4. 外で遊ぶには先生の□(きょ)可(か)がいる
5. 外壁用の□と料(りょう)を買う
6. 雪舟の水(すい)□(ぼく)画(が)を見る
7. 朝廷(てい)が□(こん)田(でん)の私有を認めた
8. 発明した機械の特(とっ)□(きょ)を取る
9. 湿気で砂糖が塊になる
10. 戦時中に敵機を撃墜した記録
11. 巨大な古墳を空から見る
12. 町の人口が少しずつ増加する
13. 海底から金塊が見つかる
14. お手伝いでおこづかいが増える
15. 山中で墜落事故の機体が見つかった
16. 前方後円墳は鍵(かぎ)穴の形をしている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい5 A

なまえ

/ 16

1. 駅前の花（か）□（だん）を手入れする
2. スマートフォンの□（けい）約（やく）を結ぶ
3. 責任感が欠（けつ）□（じょ）している
4. ほらあなの中を□（たん）検（けん）する
5. 祖母が毎朝仏（ぶつ）□（だん）に手を合わせる
6. けがを□（けい）機（き）に生活を見直す
7. 晴れていた空が突（とつ）□（じょ）暗くなった
8. ロケットで月を□（たん）査（さ）する
9. 創業者を名誉会長に奉る：□
10. 冬山では冷たい風が体温を奪う：□
11. デモ隊が工事を妨害する：□
12. お年玉を銀行に預金する：□
13. 医師として社会に奉仕する：□
14. 三つの高校が優勝旗を争奪する：□
15. 隣の話し声が勉強の妨げになる：□
16. こづかいを少しずつ預金している：□

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい5 B

なまえ

/ 16

1. 医師として社会に［ほう］仕（し）する
2. 三つの高校が優勝旗を争（そう）［だつ］する
3. デモ隊が工事を［ぼう］害（がい）する
4. お年玉を銀行に［よ］金（きん）する
5. 書道部が神社に書を［ほう］納（のう）する
6. 敵に取られた城を［だっ］回（かい）する
7. 業（ぎょう）務（む）［ぼう］害（がい）で訴える
8. ［あず］かり物（もの）を返す
9. 駅前の［花壇］を手入れする
10. 幼なじみの二人が将来を［契る］
11. 責任感が［欠如］している
12. 図書館で読みたい本を［探す］
13. スマートフォンの［契約］を結ぶ
14. 古寺で［如来］の像を拝む
15. 大学を出て中学校の［教壇］に立つ
16. 友達と近所の林を［探検］する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい6 A

なまえ

/ 10

1. 城主の□(ひめ)君(ぎみ)が他国に嫁ぐ
2. 山奥で一人暮らす老(ろう)□(ば)の物語
3. 店員の物(もの)□(ごし)が柔らかい
4. 政府の弱(よわ)□(ごし)の外交が批判される
5. 昔は映画が人々の娯楽だった □

6. 祝宴で花婿があいさつをする □
7. 捕手が投手にサインを出す □
8. 元首相の女婿が選挙に立候補した □
9. 娯楽映画の監督(とく)として名を上げる □
10. 調査船が深海の生物を捕獲する □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい6 A-2

なまえ

/ 14

1. 教会で花（はな）□（よめ）がベールをかぶる
2. 七夕に織（おり）□（ひめ）と彦（ひこ）星の話を聞く
3. 明治の名作の舞（まい）□（ひめ）を国語で読む
4. 昔は産（さん）□（ば）が出産を助けた
5. 墓に新しい塔（とう）□（ば）を立てる
6. 兄（あに）□（よめ）は看護師として働く
7. 毎朝歩いて足（あし）□（こし）を鍛（きた）える
8. 面倒な役に逃（に）げ□（ごし）になる
9. 駅前に娯楽施設ができる □
10. テレビの娯楽番組を見て笑う □
11. 平安時代の結婚は婿取りの形だった □
12. 祖父は農家に婿入りした □
13. わなでイノシシを生け捕りにする □
14. 逃げ出したペットの犬を捕まえる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん たんい6 B

なまえ

/ 15

1. 昔は映画が人々の［ご］楽（らく）だった
2. 祝宴で花（はな）［むこ］があいさつをする
3. ［ほ］手（しゅ）が投手にサインを出す
4. ［ご］楽（らく）室（しつ）で卓球をする
5. 社長が娘（むすめ）［むこ］に会社を継がせる
6. 警察が犯人を逮（たい）［ほ］する
7. 城主の姫君が他国に嫁ぐ ［　　］
8. 山奥で一人暮らす老婆の物語 ［　　］
9. 皇族の女性が民間に嫁ぐ ［　　］
10. 店員の物腰が柔らかい ［　　］
11. 幕末に皇女が将軍家へ降嫁した ［　　］
12. 教会で花嫁がベールをかぶる ［　　］
13. 白雪姫の絵本を英語で読み聞かせる ［　　］
14. 老婆心ながら一言忠告する ［　　］
15. 夏休みから受験勉強に本腰を入れる ［　　］

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん ふりかえり6 A

なまえ

/ 24

1. 落語の師（し）□（しょう）に弟子入りする
2. □（おろし）値（ね）で安く仕入れる
3. 仕事を□（また）請（う）け に出す
4. 人生の悲（ひ）□（あい）を描いた小説
5. 拝（はい）□（けい）に対する結びは敬具だ
6. □（こう）口（こう）から作業員が出てくる
7. 海底から金（きん）□（かい）が見つかる
8. 巨大な古（こ）□（ふん）を空から見る
9. 駅前の花（か）□（だん）を手入れする
10. 責任感が欠（けつ）□（じょ）している
11. 城主の□（ひめ）君（ぎみ）が他国に嫁ぐ
12. 弱者をだますのは 卑劣 だ
13. 吉日 を選んで式を挙げる
14. 海辺で夏休みを 満喫 する
15. 戦時中に敵機を 撃墜 した記録
16. 幼なじみの二人が将来を 契 る
17. 山奥で一人暮らす 老婆 の物語
18. おやつのクッキーを 一つ ずつくばる
19. シャンプーをあわ立てて 頭 をあらう
20. 山の 天候 が急に変わる
21. 町の人口が少しずつ 増加 する
22. 図書館で読みたい本を 探 す
23. 店員の 物腰 が柔らかい
24. 入学したばかりの 一年生 が校庭（てい）にならぶ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん ふりかえり6 A-2

なまえ

/ 24

1. 教会で花(はな)□(よめ)がベールをかぶる
2. ルネサンスの巨(きょ)□(しょう)が描いた絵
3. 意(い)□(しょう)を凝らした建物
4. 父は野菜を□(おろし)売(う)りする
5. 魚市場の仲(なか)□(おろし)が魚を競り落とす
6. 友人の話を□(また)聞(ぎ)きする
7. 借りた本を□(また)貸(が)しする
8. 喜怒(きど)□(あい)楽(らく)を表す
9. 下町の人々の□(あい)歓(かん)を描く
10. 人権について市民を□(けい)発(はっ)する
11. 預言者が神の□(けい)示(じ)を受ける
12. 炭(たん)□(こう)節(ぶし)を盆踊りで踊る
13. 炭鉱の□(こう)内(ない)からガスを抜く
14. 祖父は団(だん)□(かい)の世代だ
15. カレンダーをめくると六月一日だった □
16. 雨がふって一日中外(そと)で遊(あそ)べない □
17. 運動会の日は天候にめぐまれた □
18. 北海道と沖縄では気候がちがう □
19. 昔は男尊女卑の考えが強かった □
20. 身分の尊卑を問わず人材を集めた □
21. 白いキジの献(けん)上を吉兆として年号を改めた □
22. 昔の人は日食を不吉の印と考えた □
23. 少子化は喫緊の課題だ □
24. 優勝候補が初戦で思わぬ敗北を喫する □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん ふりかえり6 B

なまえ

/ 24

1. 焼きたてのパンが食(しょく)□(たく)に並ぶ
2. 明治の官(かん)□(り)が欧米を視察した
3. 画家に壁画の制作を委(い)□(しょく)する
4. 明治の教室では白(はく)□(ぼく)を使った
5. 三つの高校が優勝旗を争(そう)□(だつ)する
6. 祝宴で花(はな)□(むこ)があいさつをする
7. 昔はやった言葉が□(し)語(ご)になる
8. 暗い部屋の電(でん)□(とう)をつける
9. 外で遊ぶには先生の□(きょ)可(か)がいる
10. お年玉を銀行に□(よ)金(きん)する
11. 家計簿をつけるのに電(でん)□(たく)を使う
12. 匿名でアンケートに答える □
13. 両者の差は厘毛にすぎない □
14. 裁判官が双方の言い分を聞く □
15. 大学で西洋の哲学を学ぶ □
16. 交通安全への注意を喚起する □
17. この山には金が埋蔵されている □
18. 焼いたパンにバターを塗る □
19. 江戸(え)時代に荒れ地を開墾した □
20. 創業者を名誉会長に奉る □
21. デモ隊が工事を妨害する □
22. 昔は映画が人々の娯楽だった □
23. 捕手が投手にサインを出す □
24. 情報の秘匿性を高める □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん ふりかえり6 B-2

なまえ

/ 24

1. □図(ずち)で駅(えき)までの道を調(しら)べる
2. 各国の代表が円(えん)□(たく)を囲む
3. 職人の□(たく)越(えつ)した技に見入る
4. 大岡忠相は能(のう)□(り)として知られる
5. ローマの税(ぜい)□(り)は民衆に憎まれた
6. 定年後は□(しょく)託(たく)として働く
7. 将来を□(しょく)望(ぼう)される若手の研究者
8. 雨で□(じ)面(めん)がぬれている
9. 雪舟の水(すい)□(ぼく)画(が)を見る
10. 書家の遺(い)□(ぼく)を展示する
11. インターネットの匿名性を悪用した書き込み
12. 終戦直後に隠匿物資が摘発された
13. この勝負は九分九厘こちらの勝ちだ
14. 時計職人は一分一厘の狂いも許さない
15. 朝顔の双葉が土から出てきた
16. 双生児の研究で遺伝の影響を調べる
17. 哲人と呼ばれた古代の王
18. 仏典に説かれた深い哲理を味わう
19. 注意喚起の放送が流れる
20. 国会で証人喚問が行われる
21. 試験の穴埋め問題で点を取る
22. 干潟の埋め立てに住民が反対する
23. 大人向けの塗り絵が人気だ
24. ごまかしがばれて恥の上塗りになる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 18

6 厘 部首

5 卸 部首

4 卓 部首

3 卑 部首

2 匿 部首

1 匠 部首

12 哲 部首

11 哀 部首

10 吏 部首

9 吉 部首

8 双 部首

7 又 部首

18 埋 部首

17 坑 部首

16 嘱 部首

15 喫 部首

14 喚 部首

13 啓 部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん かん字のしくみ 2

なまえ

/ 17

6 墾

部首

5 墳

部首

4 墨

部首

3 墜

部首

2 塗

部首

1 塊

部首

12 妨

部首

11 如

部首

10 奪

部首

9 契

部首

8 奉

部首

7 壇

部首

17 嫁

部首

16 婿

部首

15 婆

部首

14 娯

部首

13 姫

部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん ふたつのよみ

なまえ

/ 24

次の――線の漢字の読みをひらがなで□に記せ。

1. 他人の不幸を喜ぶ 卑しい 心を恥じる
2. 大国に 卑屈 な外交を続ける
3. 朝顔の 双葉 が土から出てきた
4. 双発 のプロペラ機が離島へ飛ぶ
5. 地中から出た 埋もれ木 で器を作る
6. 古墳には豪族が 埋葬 された
7. 湿気で砂糖が 塊 になる
8. 険しい 山塊 を縦走する
9. 戦で民が 塗炭 の苦しみをなめる
10. 大人向けの 塗り絵 が人気だ
11. 雪舟の 水墨画 を見る
12. 墨染め の衣の僧が歩く
13. けがを 契機 に生活を見直す
14. 三国志の英雄たちは義兄弟の 契り を結んだ
15. 宝石店で指輪が 強奪 された
16. セールの初日に商品の 奪い合い になる
17. 野党が長い演説で 議事妨害 をする
18. 隣の話し声が勉強の 妨げ になる
19. 元首相の 女婿 が選挙に立候補した
20. 竹取物語で姫は 婿選び の条件に難題を出す
21. 幕末に皇女が将軍家へ 降嫁 した
22. 秋の野原に 嫁菜 の花が咲く
23. 歓送迎会は部長の 音頭 で乾杯する
24. シャンプーをあわ立てて 頭 をあらう

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん じゅくごのくみたて

なまえ

/ 20

二字の意味のつながりを考え、合う説明の記号を書きましょう。

- ア 意味の近い二字
- イ 反対の意味や対になる二字
- ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す
- エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す
- オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する

温暖 / 左右 / 急行 / 読書 / 未定

1. 師匠 □
2. 匿名 □
3. 卑屈 □
4. 円卓 □
5. 双発 □
6. 吉凶 □
7. 能吏 □
8. 哀歓 □
9. 先哲 □
10. 啓示 □
11. 召喚 □
12. 喫水 □
13. 嘱託 □
14. 坑口 □
15. 埋没 □
16. 鉄塊 □
17. 塗布 □
18. 墜落 □
19. 白墨 □
20. 古墳 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん はんたいとにたいみ

なまえ

/ 14

次の対義語・類義語を後の□の中から選び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使うこと。

対…対義語
類…類義語

1 対 弟子 ―

2 対 歓喜 ―

3 対 凡庸 ―

4 対 中央 ―

ししょう・たくえつ・ちほう・ひあい

5 対 生存 ―

6 対 末尾 ―

7 対 半減 ―

8 類 役人 ―

9 類 慰安 ―

10 類 献身 ―

かんり・ごらく・しぼう・ばいぞう・ほうし・ぼうとう

11 類 搾取 ―

12 類 期待 ―

13 類 邪魔 ―

14 類 前兆 ―

しゅうだつ・しょくぼう・ちょうこう・ぼうがい

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん よじじゅくご

なまえ

/ 14

読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましょう。

1. 官尊民□ ピ
2. 高論□説 タク
3. 天下無□ ソウ
4. 大安□日 キチ
5. 喜怒□楽 アイ
6. 明□保身 テツ
7. 道聴□説 ト
8. 文人□客 ボッ
9. 滅私□公 ホウ
10. 生殺与□ ダツ
11. 面目躍□ ジョ
12. 歓天喜□ チ
13. 心□滅却 トウ
14. 九□一生 シ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん ごじをなおす

なまえ

/ 24

次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1. 意少を凝らした建物
   誤 ［　］ 正 ［　］
2. 差し押さえ前に財産を隠特する
   誤 ［　］ 正 ［　］
3. 大国に非屈な外交を続ける
   誤 ［　］ 正 ［　］
4. 焼きたてのパンが食宅に並ぶ
   誤 ［　］ 正 ［　］
5. 一分一臨たがわず
   誤 ［　］ 正 ［　］
6. 桑発のプロペラ機が離島へ飛ぶ
   誤 ［　］ 正 ［　］
7. 明治の官痢が欧米を視察した
   誤 ［　］ 正 ［　］
8. 人生の悲曖を描いた小説
   誤 ［　］ 正 ［　］
9. 大学で西洋の鉄学を学ぶ
   誤 ［　］ 正 ［　］
10. 預言者が神の傾示を受ける
    誤 ［　］ 正 ［　］
11. 国会に証人を冠問する
    誤 ［　］ 正 ［　］
12. 海辺で夏休みを満詰する
    誤 ［　］ 正 ［　］
13. 将来を食望される若手の研究者
    誤 ［　］ 正 ［　］
14. 炭黄節を盆踊りで踊る
    誤 ［　］ 正 ［　］
15. 噴火で古代の都市が米没した
    誤 ［　］ 正 ［　］
16. 祖父は団諧の世代だ
    誤 ［　］ 正 ［　］
17. 戦で民が賭炭の苦しみをなめる
    誤 ［　］ 正 ［　］
18. 故障した小型機が追落した
    誤 ［　］ 正 ［　］
19. 雪舟の水木画を見る
    誤 ［　］ 正 ［　］
20. エジプトの王の噴墓を調査する
    誤 ［　］ 正 ［　］
21. 島は未開紺のままだ
    誤 ［　］ 正 ［　］
22. 演段から聴衆に語りかける
    誤 ［　］ 正 ［　］
23. 書道部が神社に書を芳納する
    誤 ［　］ 正 ［　］
24. 経約書に署名する
    誤 ［　］ 正 ［　］

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 39かん おなじおんのかんじ

なまえ

/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

1. 誕生日会に友達を□ショウ待（たい）する
2. 意（い）□ショウを凝らした建物
3. 差し押さえ前に財産を隠（いん）□トクする
4. おもちゃ屋で□トク売（ばい）をしている
5. 大国に□ヒ屈（くつ）な外交を続ける
6. 秋の土手に□ヒ岸（がん）花（ばな）が咲く
7. 海を干（かん）□タクして新田を開く
8. 各国の代表が円（えん）□タクを囲む
9. 電車の車（しゃ）□リンがレールの上を回る
10. 九（く）分（ぶ）九（く）□リン終わった
11. 裁判官が□ソウ方（ほう）の言い分を聞く
12. チベットの山の□ソウ院（いん）を訪ねる
13. ローマの税（ぜい）□リは民衆に憎まれた
14. ゲームで相手の心（しん）□リを読む
15. 兄は古いグローブを□アイ用（よう）する
16. 下町の人々の□アイ歓（かん）を描く
17. この町には電（でん）□テツの駅がある
18. 大学で西洋の□テツ学（がく）を学ぶ
19. 預言者が神の□ケイ示（じ）を受ける
20. □ケイ期（き）を終えて社会に戻（もど）る
21. 攻め込む兵の□カン声（せい）が響く
22. 優勝を祝って□カン杯（ばい）する
23. □キツ煙（えん）は二十歳になってから
24. 議員が政府の失策を難（なん）□キツする

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10